



宮山墳墓群 宮山天望古墳



指定区分	県指定史跡
読みかた	みややまふんぼぐん みややまてんぼうこふん
所在地	総社市三輪
指定年月日	昭和39年5月6日
解説	宮山墳墓群は、弥生時代後期から古墳時代初期にわたる墳墓群。長さ38mの前方後円形の墳墓と、その周囲から西側にかけて広がる約30基の墳墓からなる。埴輪の起源となる宮山型特殊器台が出土した。宮山天望古墳は、それらに続いて東の山頂に築かれた、古墳時代前期の前方後円墳。
アクセス方法	JR総社駅から百射山神社まで約2.3km
公開状況	自由
設備	百射山神社  駐車場  トイレ
備考	宮山墳墓群がある三輪山には、実に約70基もの古墳が密集している。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	宮山墳墓群 宮山天望古墳
よみかた	みややまふんぼぐん みややまてんぼうこ ぶん
しょざいち (所在地)	総社市三輪
していつひ (指定した日)	昭和39年5月6日
せつめい	弥生時代(やよいじだい)おわりごろから古 墳時代(こぶんじだい)はじめごろの古墳 (こぶん)がおよそ30基(き)もあります。山 頂(さんちょう)にある前方後円墳(ぜんぽ うこうえんぶん)が宮山天望古墳(みやや まてんぼうこぶん)です。この宮山(みやや ま)をふくむ三輪山(みわやま)ではなんと 70基も古墳が集(あつ)まっています。